

リーディングDXスクール事業【GIGA×指導の工夫・改善】

鹿児島市立玉江小学校（鹿児島県）【指定校】

【GIGA×指導の工夫・改善】 道徳科における実践事例

＜单元名＞

4年 道徳科「いのりの手」

＜概要＞

学習支援ソフトの資料箱に「心情メーター」を保存し、児童一人一人の心情を把握するために活用した。

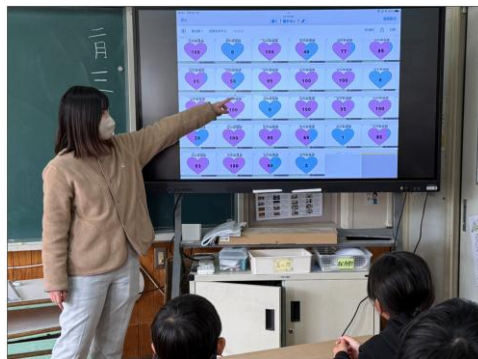
＜活用の実際＞

- (1) 導入段階で、今の自分の気持ちを表出させ、児童一人一人の心情を把握した。
- (2) 心情メーターを提出箱に提出させ、学級全体で共有することで、友達の心情も理解することができた。
- (3) 心情が極端に偏っていたりちょうど真ん中で迷っていたりする児童には、「どうしてそう思ったの。」と発問することで、個々の指導に生かすことができた。
- (4) 終末の段階でもう一度心情メーターを使い気持ちを整理することで、自分の気持ちの変化に気付いたり友達の考えのよさに気付いたりすることができるようにした。

＜成果と課題＞

- 発表が苦手な児童の心情を把握しやすいので、個別指導に役に立った。
- 心情を数値で把握できるため極端な数値の児童にすぐに個別指導ができた。
- 1単位時間内での心情の変化もすぐに読み取れるため、評価に役立った。
- ▲ 道徳の授業内のどの場面でのどのような情報活用能力を育てていくのか、今後も研究していく必要がある。

心情メーターを操作し、今の自分の気持ちを表出する。挙手や発表に比べ、児童が考えを表出しやすいので、一人一人の思いを確認することができた。



全体で確認することで、友達の考えや思いを知ることができた。

また、気になる児童には声をかけやすくなり、個別指導に役立った。

終末の段階でもう一度心情メーターを活用することで、心情の変化を読み取りやすくなり、個別指導や評価に生かすことができた。

